

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユース ケース	<p>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>				
	ツール名	ラピッドプロトotypingツール「FaBo(ファボ)」			
候補者	(フリガナ) カブシキガイシャファボ	他 名	企業名/学校名	(フリガナ)	
	株式会社FaBo		団体名/個人名		
企業区分	<input type="checkbox"/> 大企業	所在地	福島県	開発形態	<input type="checkbox"/> 既存のモノを利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業			<input checked="" type="checkbox"/> 新規開発	
	<input type="checkbox"/> 学生			開発費用	<input checked="" type="checkbox"/> 分からない
	<input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 円	

ツールのPRポイント

◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内

FaBoはハードウェアのラピッドプロトotypingツールで、マイコンとコネクタ1本の接続で動作でき、電子回路の知識がなくてもハードウェアのプロトotypingが可能。Arduino/RaspberryPi/IchigoJam等に対応したShield(シールド)と、Brick(ブリック)で構成されています。BrickはLEDやボタン、ブザーをはじめ、温度、湿度、加速度などのさまざまなセンサー類、さらにスマートフォンとの連携が可能なものなどを多数揃えています。

◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか)

FaBoはハードウェアのプロトotypingに必要なShieldとBrickを必要なだけ小ロットでWebから購入することができますのでコストパフォーマンスに優れています。入門者にはスターターキット(税込10,800円)、全てのBrickを試したい開発者には全部入りのコンプリートパッケージ(税込97,200円)を用意。本体にはArduino UNO、Raspberry Pi、IchigoJamの3種類に対応したOUT/INシールドとケーブルもセットになっていますので、すぐにIoTプロトotypingを始めることができます(ただし、Arduino UNO、Raspberry Pi、IchigoJamのマイコン本体は含まれません。別途購入が必要です。)。FaBoはオープンソースハードウェアなので回路図やライブラリもすべて公式サイト(<http://www.fabo.io>)で公開しており、各Shield、Brickの接続導入ガイドやコミュニティページも参照できます。さらにロボットカー、リモコン、プロペラなどのキットも販売していますので、人材育成用に利用することも可能です。

◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)

プロトotypingとは、最初のアイデアを速やかに形にし、そのアイデアが世の中の人に受け入れられるかどうかを検証するフェーズですので、「作って検証」のサイクルを早く回すことが重要です。FaBoはこのフェーズを従来よりも簡単、迅速かつ低コストに行うようにすることができるツールです。回路を設計し、ブレッドボード(はんだ付け不要の基板)にパーツを差し込んで配線するというような電子工作の手間が一切ありません。中堅・中小製造業者様ではヒト・モノ・カネ・時間の制約が厳しい中で、コストと時間のかかる小ロットのプロトotypingフェーズをいかに軽くして高回転させるかが勝負となることから、できるだけ外注を使わず自前で行うことが重要です。ここ数年低価格で導入しやすくなった3Dプリンターやレーザーカッターなどの工作機器を同時に導入することでさらに高い効果が期待できます。また、FaBoはIoTとの親和性が高く、IoTに関連する新しいビジネスモデルのアイデアを形にするプロトotypingツールとして活用するのに適していることから、導入波及性や有効性が期待できると考えます。

◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内

使用方法、取扱説明書については公式サイト(<http://www.fabo.io>)をご参照。

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

FaBo Complete Kit の製品写真



導入事例① 「会津大学平成27年、28年シリコンバレーインターンシップ研修」におけるプロトタイプ開発実習に活用



導入事例② 「宇都宮大学平成27年組込みソフトウェア工学演習/情報通信プロトコル特論」における教材として活用



記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

ラピッドプロトタイピングツール「FaBo(ファボ)」

ひとことPRコメント(15文字以内)

ラピッドプロトタイピングツール

参考Webページ(URL)

<http://fabo.io/>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	株式会社FaBo (ファボ)
住所	〒965-0861 福島県会津若松市日新町12-9 Fab蔵
電話番号	0242-23-9380
メール	info@fabo.io
ホームページ	http://fabo.io/
担当者名	高野 康 (ふりがな たかの やすし)